

## なくなる洗濯用パック型液体洗剤による事故

洗濯用パック型液体洗剤は、濃縮液体洗剤を水溶性のフィルムで包んだ、触ると柔らかいもので、洗濯時には直接洗濯槽内に入れて使います。フィルムは水に溶けやすいため、パックを握ったりかんだりしているうちに破れてしまい、洗剤が口や目に入ったという事故が約10年前から続けて発生しています。子どもだけではなく高齢者による事故も報告されています。不用意に触ってしまうおそれのある方の手の届くところには置かないようにしましょう。

事例を紹介します。

- ・ 子どもが洗濯用パック型液体洗剤を触っていて、フィルムが破れてしまい、中身が左目に入ったため、受診した。(3歳、女兒)
- ・ 認知症のある高齢者が、自宅の洗面所に置いてあった洗濯用パック型液体洗剤を1～2個食べてしまった。嘔吐と下痢が続き、病院に搬送された。  
(70歳代、男性)

子どもだけでなく、不用意に触ってしまうおそれのある方の手の届く所には置かないようにしましょう。

必ずふたなどをしっかり閉めて、子どもなどの手の届かない置き場所にすぐ戻すことを習慣にしましょう。

パック型液体洗剤をぬらさないよう気を付けましょう。

子どもや高齢者などが誤って口に入れてしまい、洗剤などを飲み込んだ可能性がある場合や、目に入りよく洗い流しても異常を感じる場合には、商品の成分が分かるパッケージなどを持って医療機関を受診しましょう。

(参考：国民生活センターウェブサイト)

